

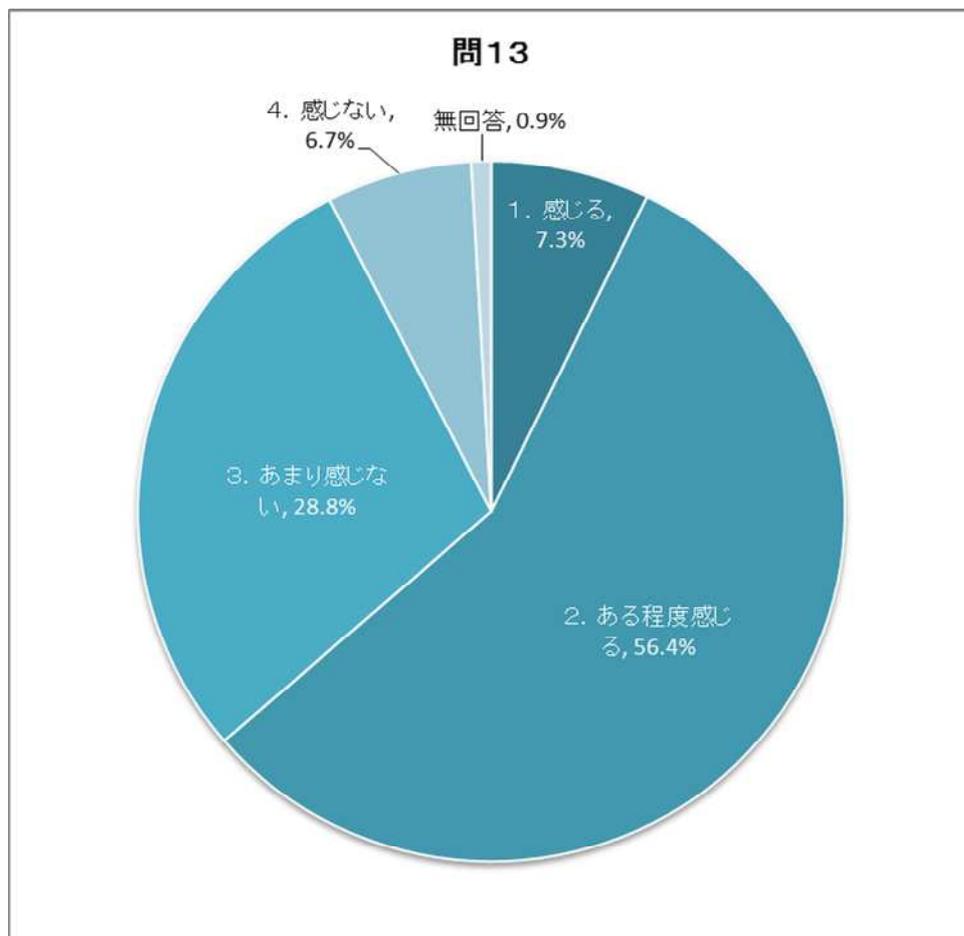
問13 防犯に関しておたずねします。

あなたのお住まいの街が安全で安心だと感じますか。

(1つ選んでください)

1. 感じる	7.3%	【24】
2. ある程度感じる	56.4%	【186】
3. あまり感じない	28.8%	【95】
4. 感じない	6.7%	【22】
無回答	0.9%	【3】

n = 330



【分析・コメント】

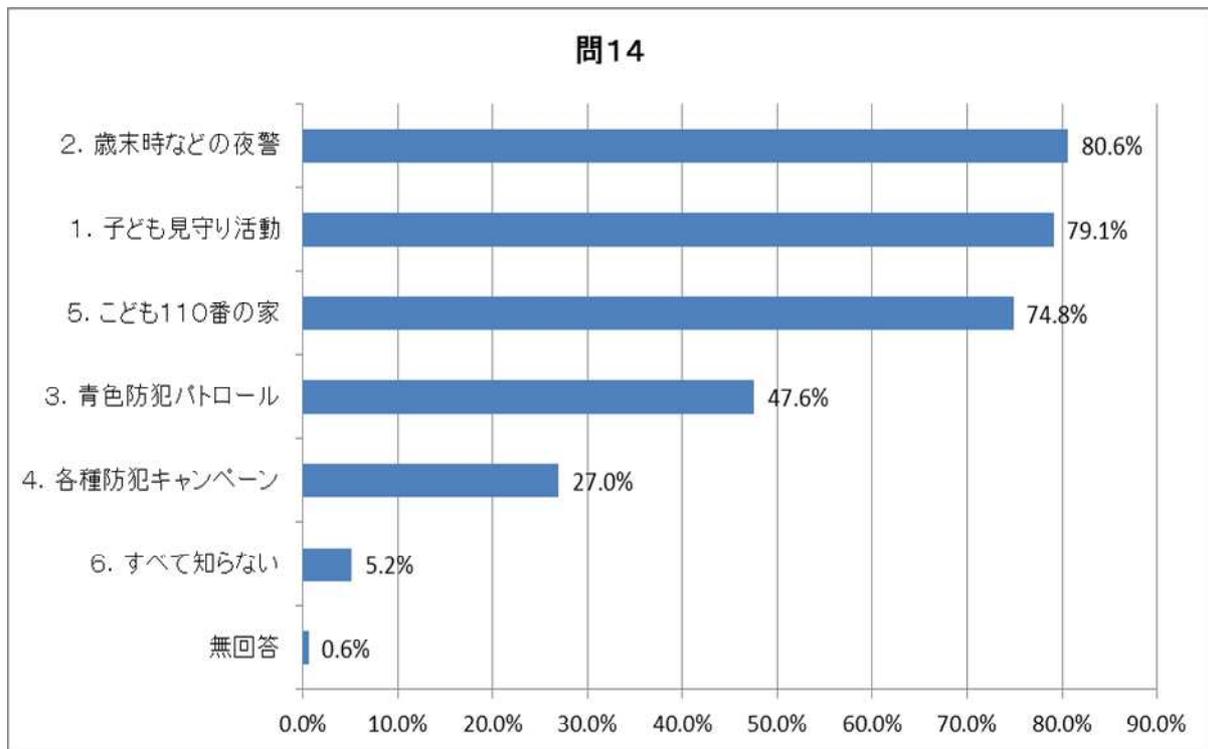
あなたのお住まいの街が安全で安心だと感じますかとたずねたところ、「感じる」(7.3%)と「ある程度感じる」(56.4%)をあわせた6割の方が安全で安心と感じており、「あまり感じない」(28.8%)と「感じない」(6.7%)をあわせた4割の方が安全で安心と感じていないと答えています。

問14 次にあげる事業は城東区内においてすでに実施している事業ですが、知っているものをすべて選んでください。 (あてはまるものすべてお選びください)

1. 子ども見守り活動	79.1%	【261】
2. 歳末時などの夜警	80.6%	【266】
3. 青色防犯パトロール	47.6%	【157】
4. 各種防犯キャンペーン	27.0%	【89】
5. こども110番の家	74.8%	【247】
6. すべて知らない	5.2%	【17】
無回答	0.6%	【2】

n = 330

回答総数【1,039】



【分析・コメント】

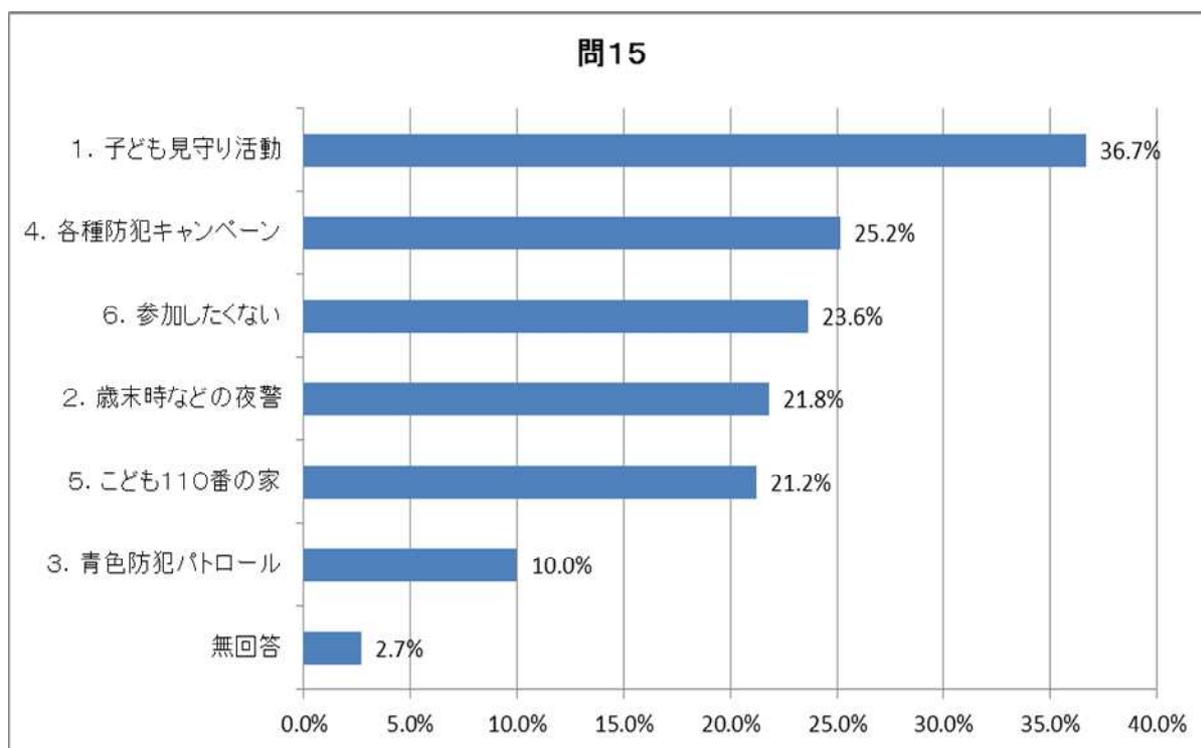
城東区内においてすでに実施している事業の認知度についてたずねたところ、「歳末時などの夜警」(80.6%)、「子ども見守り活動」(79.1%)、「こども110番の家」(74.8%)が多い順となっています。

問15 次の各項目で参加したいと思うものはどれですか。(現在参加している方もお答えください)
(あてはまるものすべてお選びください)

1. 子ども見守り活動	36.7%	【121】
2. 歳末時などの夜警	21.8%	【72】
3. 青色防犯パトロール	10.0%	【33】
4. 各種防犯キャンペーン	25.2%	【83】
5. こども110番の家	21.2%	【70】
6. 参加したくない	23.6%	【78】
無回答	2.7%	【9】

n = 330

回答総数【466】



【分析・コメント】

参加したいと思うものについてたずねたところ、「子ども見守り活動」(36.7%)、「各種防犯キャンペーン」(25.2%)、「参加したくない」(23.6%)が多い順となっています。

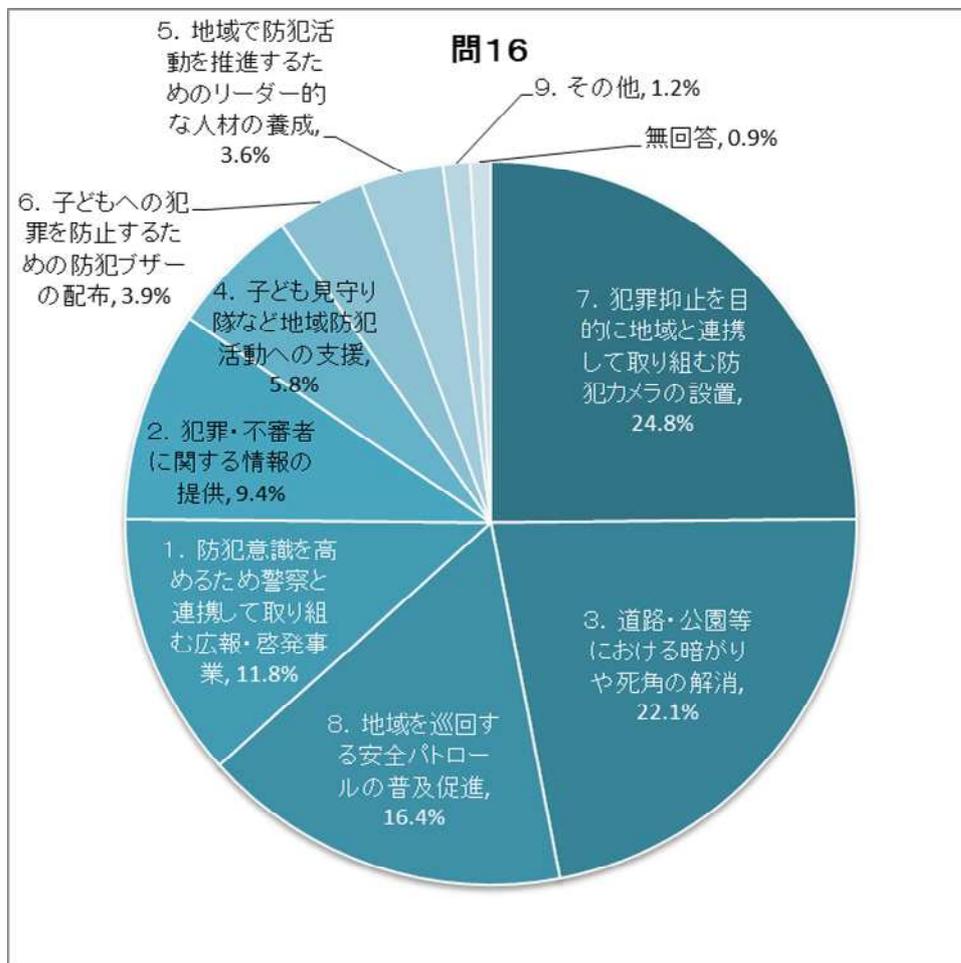
性別でみると、「子ども見守り活動」と答えた方の割合が男性(54.1%)と女性(24.9%)と大きな差が生じています。

問16 防犯に関して、城東区役所が今後もっとも力を入れるべきだと思う取組はどれですか。

(1つ選んでください)

1. 防犯意識を高めるため警察と連携して取り組む広報・啓発事業	11.8%	【39】
2. 犯罪・不審者に関する情報の提供	9.4%	【31】
3. 道路・公園等における暗がりや死角の解消	22.1%	【73】
4. 子ども見守り隊など地域防犯活動への支援	5.8%	【19】
5. 地域で防犯活動を推進するためのリーダー的な人材の養成	3.6%	【12】
6. 子どもへの犯罪を防止するための防犯ブザーの配布	3.9%	【13】
7. 犯罪抑止を目的に地域と連携して取り組む防犯カメラの設置	24.8%	【82】
8. 地域を巡回する安全パトロールの普及促進	16.4%	【54】
9. その他	1.2%	【4】
無回答	0.9%	【3】

n = 330



【分析・コメント】

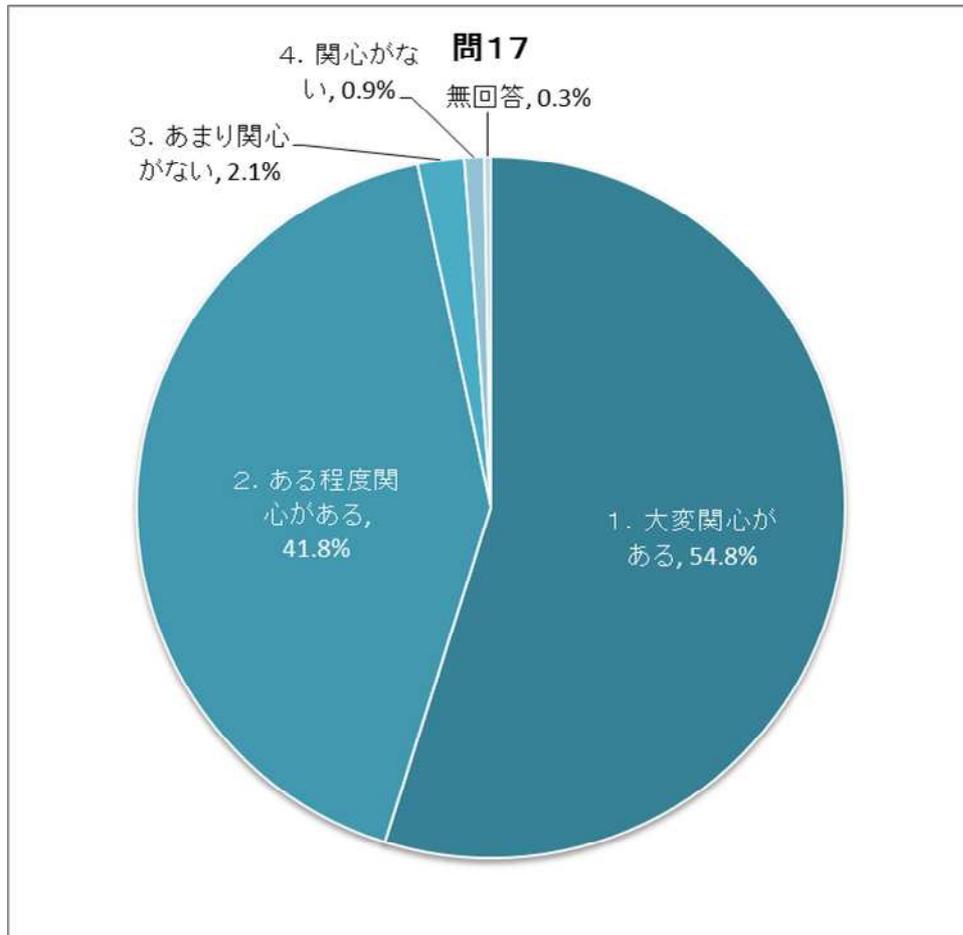
防犯に関して、城東区役所が今後もっとも力を入れるべきだと思う取組はどれですかとたずねたところ、「犯罪抑止を目的に地域と連携して取り組む防犯カメラの設置」(24.8%)、「道路・公園等における暗がりや死角の解消」(22.1%)が多い順となっています。

「その他」(1.2%)では、「空き家や高架下などの落書きは街の景観を損なうため落書き防止対策」、「出来るならこの取組み全部実施して欲しい」などがあがっています。

問17 健康や福祉に関しておたずねします。
自分自身の健康について関心をお持ちですか。

1. 大変関心がある	54.8%	【181】
2. ある程度関心がある	41.8%	【138】
3. あまり関心がない	2.1%	【7】
4. 関心がない	0.9%	【3】
無回答	0.3%	【1】

n = 330



【分析・コメント】

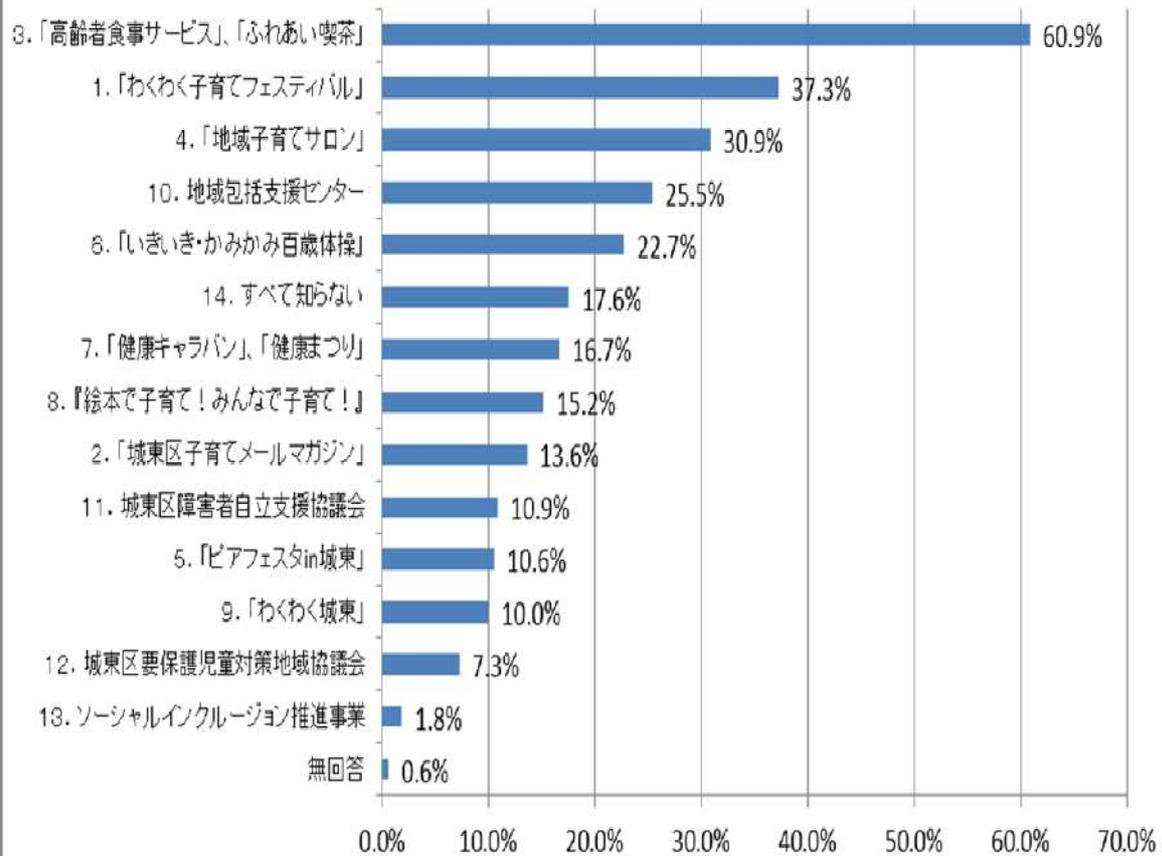
自分自身の健康について関心をお持ちですかとたずねたところ、「大変関心がある」(54.8%)と「ある程度関心がある」(41.8%)をあわせた9割以上の方が、健康に関心を持っていると答えています。

年代別でみると、「大変関心がある」と答えた方の割合が60歳以上で一番高い結果となっています(20歳代以下 48.4%、30歳代 46.8%、40歳代 35.5%、50歳代 52.5%、60歳以上 69.6%)。(別紙 第1回アンケート基礎データ参照)

問18 次にあげる事業は城東区役所や地域においてすでに実施している事業ですが、知っているものをすべて選んでください。 お聞きになったことがある事業すべてをお答えください。 (あてはまるものすべてお選びください)

1 . 「わくわく子育てフェスティバル」 (親子で参加できるイベント)	37.3%	【123】
2 . 「城東区子育てメールマガジン」 (子育てに関する様々な情報を配信する取組)	13.6%	【45】
3 . 「高齢者食事サービス」, 「ふれあい喫茶」 (地域で実施されている福祉活動)	60.9%	【201】
4 . 「地域子育てサロン」 (地域で実施されている子育て支援の活動)	30.9%	【102】
5 . 「ピアフェスタ in 城東」 (障がいのある方と地域の方々がふれあい、交流するためのイベント)	10.6%	【35】
6 . 「いきいき・かみかみ百歳体操」 (高齢者の筋力アップやひきこもり防止など介護予防を目的とした事業)	22.7%	【75】
7 . 「健康キャラバン」, 「健康まつり」 (健康相談や多彩なイベントを通じて健康について考える機会をつくる取組)	16.7%	【55】
8 . 『絵本で子育て！みんなで子育て！』 (絵本を通じ、地域での子育て支援の活動や子育て支援機関と連携してすすめる、子育て支援事業)	15.2%	【50】
9 . 「わくわく城東」 (現役ママさんたちが作る子育て支援情報誌)	10.0%	【33】
10 . 地域包括支援センター (高齢者が住み慣れた地域で生活を続けるうえでの様々な相談などを行う身近な支援機関)	25.5%	【84】
11 . 城東区障害者自立支援協議会 (地域における障がい福祉に関する関係者による連携、及び支援体制について協議を行う場)	10.9%	【36】
12 . 城東区要保護児童対策地域協議会 (虐待をうけた子どもを見守る地域ネットワーク)	7.3%	【24】
13 . ソーシャルインクルージョン推進事業 (小学校区を基盤として、障がい者・高齢者などの要援護者を含むすべての地域住民が支えあい、課題を解決できる新たな地域福祉システム構築に向けた取組)	1.8%	【6】
14 . すべて知らない 無回答	17.6% 0.6%	【58】 【2】
	n = 330	
		回答総数【929】

問18



【分析・コメント】

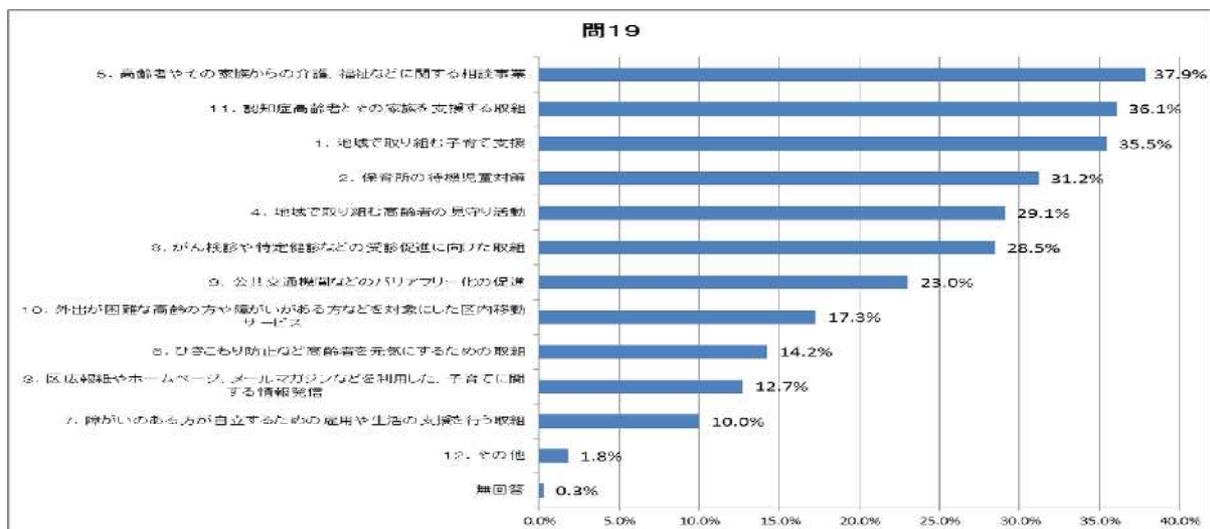
城東区役所や地域においてすでに実施している事業の認知度についてたずねたところ、「高齢者食事サービス」、「ふれあい喫茶」(60.9%)、「わくわく子育てフェスティバル」(37.3%)、「地域子育てサロン」(30.9%)が多い順となっています。

年代別で見ると、「すべて知らない」と答えた方の割合が20歳代以下で一番高い結果となっています(20歳代以下 41.9%、30歳代 17.7%、40歳代 21.0%、50歳代 20.0%、60歳以上 9.6%)。(別紙 第1回アンケート基礎データ参照)

問19 だれもが自分の住むまちで健康で、安心して暮らせるまちづくりをさらに進めていくため今後、城東区役所や地域が力を入れて取り組むべきだと思うものはどれですか。
(3つまで選んでください)

1. 地域で取り組む子育て支援	35.5%	【117】
2. 保育所の待機児童対策	31.2%	【103】
3. 区広報紙やホームページ、メールマガジンなどを利用した、子育てに関する情報発信	12.7%	【42】
4. 地域で取り組む高齢者の見守り活動	29.1%	【96】
5. 高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談事業	37.9%	【125】
6. ひきこもり防止など高齢者を元気にするための取組	14.2%	【47】
7. 障がいのある方が自立するための雇用や生活の支援を行う取組	10.0%	【33】
8. がん検診や特定健診などの受診促進に向けた取組	28.5%	【94】
9. 公共交通機関などのバリアフリー化の促進	23.0%	【76】
10. 外出が困難な高齢の方や障がいがある方などを対象にした区内移動サービス	17.3%	【57】
11. 認知症高齢者とその家族を支援する取組	36.1%	【119】
12. その他	1.8%	【6】
無回答	0.3%	【1】

n = 330 回答総数【916】



【分析・コメント】

城東区役所や地域が力を入れて取り組むべきと思うものについてたずねたところ、「高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談事業」(37.9%)、「認知症高齢者とその家族を支援する取組」(36.1%)、「地域で取り組む子育て支援」(35.5%)が多い順となっています。

「その他」(1.8%)では、「集中豪雨など自然災害に対する河川整備」、「自転車の撤去」などがあがっています。

年代別に一番多い回答項目は20歳代以下と30歳代で「地域で取り組む子育て支援」、次に40歳代と60歳以上で「認知症高齢者とその家族を支援する取組」、50歳代で「高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談事業」という結果となっています。(別紙「第1回アンケート結果基礎データ参照」)

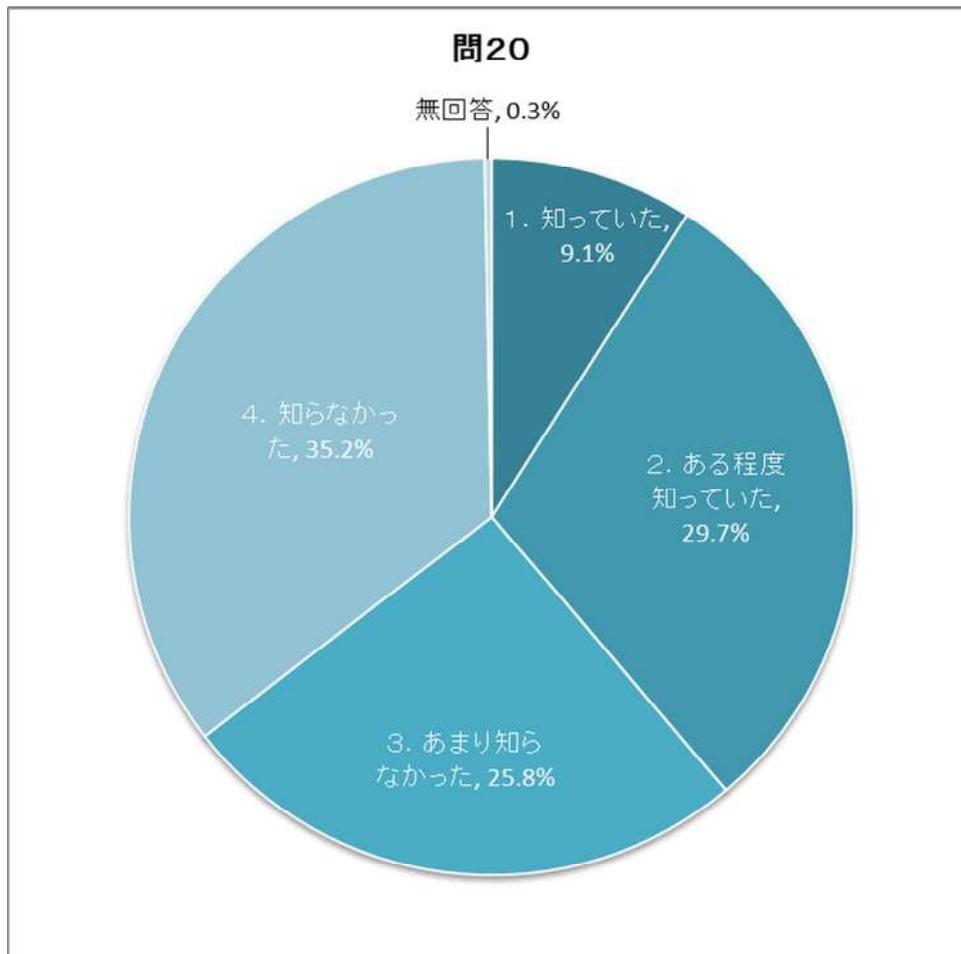
問20 城東区役所では、毎年度重点的な取組を「区運営方針」として策定し、その方針に基づき事業を実施し、予算編成を行っています。(平成26年度区運営方針を広報紙「ふれあい城東(6月号)」や区のホームページにおいて掲載しています。)

区運営方針を知っていましたか。

(1つ選んでください)

1. 知っていた	9.1%	【30】
2. ある程度知っていた	29.7%	【98】
3. あまり知らなかった	25.8%	【85】
4. 知らなかった	35.2%	【116】
無回答	0.3%	【1】

n = 330



【分析・コメント】

区運営方針の認知度についてたずねたところ、4割の方が「知っていた」(9.1%)と「ある程度知っていた」(29.7%)と回答しています。逆に6割の方が「あまり知らなかった」(25.8%)と「知らなかった」(35.2%)と答えています。

年代別でみると、「知らなかった」と答えた方の割合が20歳代以下で一番高い結果となっています(20歳代以下 71.0%、30歳代 46.8%、40歳代 30.6%、50歳代 37.5%、60歳以上 23.0%)。

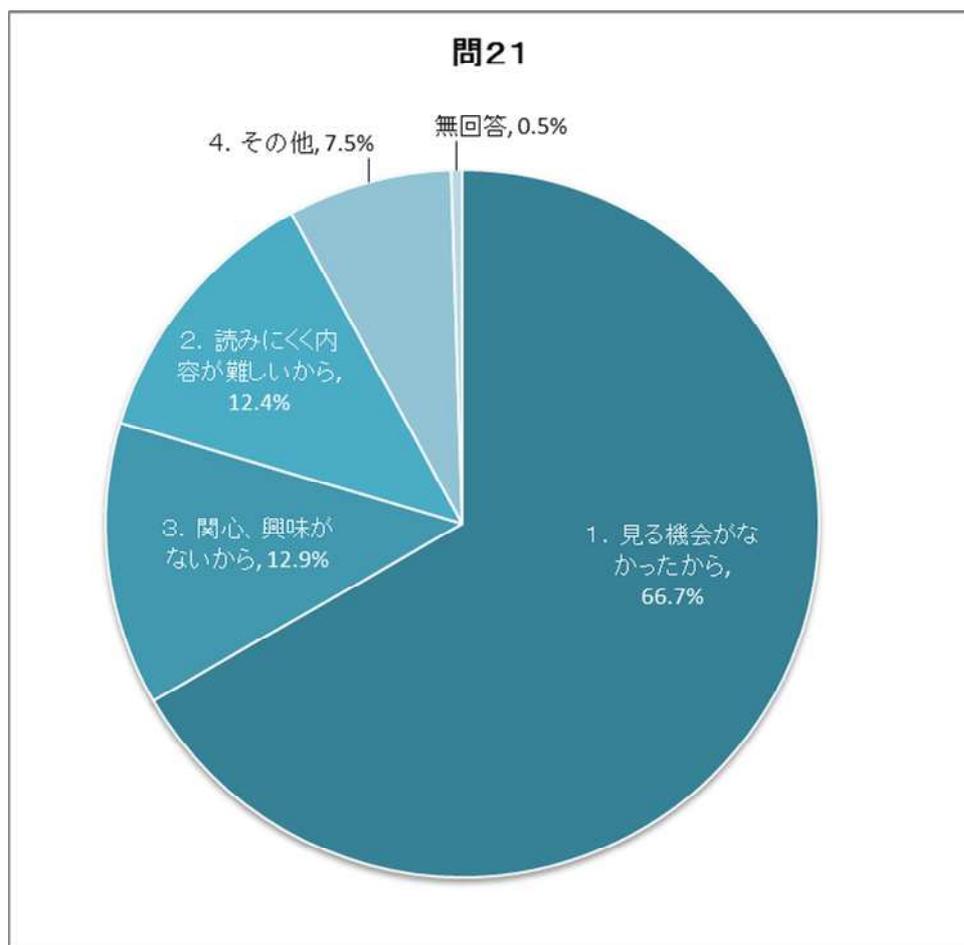
問21 (問20で「3.あまり知らなかった」又は「4.知らなかった」と答えた方【201名】
にお聞きしました。)

知らなかった理由は何ですか。最も近いものをお選びください。

(1つ選んでください)

1. 見る機会がなかったから	66.7%	【134】
2. 読みにくく内容が難しいから	12.4%	【25】
3. 関心、興味がないから	12.9%	【26】
4. その他	7.5%	【15】
無回答	0.5%	【1】

n = 201



【分析・コメント】

区運営方針を知らなかった理由についてたずねたところ、6割の方が「見る機会がなかったから」(66.7%)と答えています。

「その他」(7.5%)では、「探さなくても知らせる仕組みが必要、情報発信されていない」、「読んでいるはずだが、あまり記憶に残っていない」などがあがっています。

【3】調査結果を受けて

(まちづくり)

城東区のまちに関して、9割を超える方が住みやすいと感じておられ、その理由について、ほとんどの方が「鉄道やバスなど交通が便利」(65.2%)、「買い物に便利」(60.2%)と答えています。

一方で、「近所づきあいがよい」(12.2%)や「子育てがしやすい」(2.8%)などの理由については10%前後と比較的低い結果となっています。

また、9割の方が城東区に愛着を感じると答えています。その理由としては5割の方が「長年住んでいるから」、2割の方が「交通の便利が良いから」となっていますが、「地域のコミュニケーションが良いから」(7.7%)や「まちの雰囲気が良いから」(5.3%)、「歴史・伝統が残っているから」(2.5%)などについては、1割以下の結果となっています。

「住民同士の『つながり』や『きずな』が増えてきていると感じるかについて、「感じない」、「あまり感じない」を合わせると5割おられることから、城東区として区民のコミュニティづくりを今後より一層すすめる施策が必要です。

(防災)

防災に関して、地域での自主的な防災活動について「活動は知っていたが、参加したことがない」と「活動していることを知らなかった」をあわせた7割の方は防災活動に参加したことがない結果となり、主に若年層の方が「活動をしていることを知らなかった」と答えていました。各自の備え(自助)や住民同士の助け合い(共助)により、地域の防災力を高めていくため、城東区としてより一層地域への活動支援や啓発活動に取り組む必要があります。

(防犯)

防犯に関して、「お住まいの街が安全で安心だと感じますか」の問いに、「感じる」と「ある程度感じる」を合わせた6割の方が感じると答えていました。今後、すべての人が城東区が安全で安心なまちだと感じることができるよう、地域コミュニティによる防犯力向上に向けた城東区としての取組が必要です。

(健康・福祉)

健康や福祉に関しては、自分自身の健康について9割以上の方が関心を持っていました。しかし、区役所や地域においてすでに実施している健康や福祉に関する事業の認知度(問18)が3割程度にとどまっていることから、情報発信や啓発を充実させ、すべての人に情報が届く環境づくりを進める必要があります。

(区運営方針)

区運営方針についておたずねしたところ、「知らなかった」と「あまり知らなかった」とあわせた6割の方は知らないと答えていました。区政運営の推進に向け、区役所が取り組む方向性や情報について、より多くの区民の方にお伝えできるよう、情報の発信・伝達方法を再構築していく必要があります。

担当 城東区役所総務課(総合企画)

電話 06-6930-9683